

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第311回

アントニ・ガウディ

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年6月13日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

What is necessary to do things is:
first, love, and second, technique.

ものごとを上手くやるために必要なのは

第一に愛，第二に技術である。

アントニ・ガウディは、スペイン、カタルーニャ出身の建築家。19世紀から20世紀にかけてのモデルニスモ期のバルセロナを中心に活動した。サグラダ・ファミリア・グエル公園・カサ・ミラをはじめとしたその作品はアントニオ・ガウディの作品群として1984年ユネスコの世界遺産に登録されている。

Column

スペイン・バルセロナでシンボルのようにそびえ立ち、世界中で有名な観光スポットでもある『サグラダ・ファミリア』を建築者として非常に有名であり、彼の建築スタイルは“ガウディ建築”と呼ばれています。サグラダ・ファミリアは着工から既に100年以上という長い年月が経過しており、完成予定は2026年となっております。建設期間の長さもですが、未完成にも関わらず2005年にユネスコの世界遺産に登録されたことに驚きです。

そもそもサグラダ・ファミリアの全貌は設計者であるガウディの頭の中にしかなかったと言われており、まさに手探り状態で建設を進めるしかなかったようです。そんなエピソードからも非効率な仕事に見えるため、『上手くやる』という部分には該当しない気がしますが、未完成のうちから世界中の人々を魅了するような作品を手掛けているということですから、上手すぎるほど上手くやれているのだと今回の言葉にも納得しました。

答えや完成の早さに固執するあまり、“精度”が落ちるということはよくある話ですが、常に時間をかけられるわけでもないのが現状ですよね。しかし『しっかりと考える（やる）』ことと『時間をかける』ことは決してイコールではありません。常にしっかりと考えた上で全力で挑戦する経験を繰り返すことにより、答えも早く出るようになります。それはひとつの技術であり、努力で技術は身につきます。しかし、やる気と根気は簡単には手に入りません。でも頑張ろうとするのは自分や仲間への大きな“愛”があるからです。愛は自然に溢れ出てくるものであり、すべての原動力になるのだと思います。まだまだ完成していないみなさんの人生ですが、サグラダ・ファミリアと同じように現在のみなさんも魅力が溢れていて応援したくなるような存在です。仲間や家族への想いを原動力に努力を重ねていくことで、自分の人生を素晴らしいものにしていきましょう！